

平成31年3月27日

安城警察署長 様

高棚町内会長 長坂 勝継

安城市議会議員 石川 博雄

安城市議会議員 神谷 昌宏

高棚小学校PTA会長 中島 良英

高棚町子ども育成協議会会長 田村 博之

高棚小学校子ども見守り隊顧問 池田 昌三

横断歩道設置等要望書

1 要望内容

- (1) 横断歩道の設置
- (2) 退避場所の設置
- (3) 横断歩道の標識

2 要望場所

安城市高棚町申畑50番1地先の県道南中根小垣江線上

3 要望理由

(1) 横断歩道の設置

ア 小学校通学路など子どもの安全

高棚町において、稗田川より西は、県道南中根小垣江線（以下「県道」という。）より南の秋葉堂地区（以下「秋葉堂地区」という。）と県道より北の申畑地区（以下「申畑地区」という。）に分かれています。

秋葉堂地区から高棚小学校への通学路は、要望場所を通り、申畑地区を経由して高棚小学校へ至ります。平成30年度、秋葉堂地区からは7

名の小学生（小2・4名、小3・1名、小4・1名、小5・1名）が要望場所を通り高棚小学校へ通学しています。

しかし、要望場所には横断歩道の設置がありません。このため、朝は子ども見守り隊の人が車を止めて横断させていますが、車両の数も多く、スピードも出ており、見守り隊の人が止めるにも危険を感じています。

高棚小学校の通学路の安全確保のため、横断歩道の設置を強く要望します。

なお、平成30年度、申畑地区には11名の小学生（小1・2名、小2・4名、小4・2名、小6・3名）がおり、申畑地区と秋葉地区の子どもたちは、日頃から行き来しております。このため、両地区の子どもたちの日常の安全確保のためにも、横断歩道の設置を要望します。

イ ごみステーションなど住民の安全

秋葉堂地区のごみステーションは、申畑地区と合同で、高棚町申畑71番2の隣接地に位置しています。

このため、秋葉堂地区の住民の多くは、毎朝のごみ出しの行き来のため、要望場所を横断しており、安全確保のため、横断歩道の設置を強く要望します。

なお、要望場所は、秋葉堂地区34世帯と申畑地区52世帯が接する代表的な場所です。両地区の住民の日常の安全確保のためにも、横断歩道の設置を要望します。

(2) 退避場所の設置

県道には歩道部分がなく、退避する場所がありません。横断歩道を渡る前後の安全確保のため、退避場所の設置を要望します。

要望場所周辺には、建物は建っておらず、畑又は雑木林であり、退避場所を確保することは容易と考えます。

(3) 横断歩道の標識

高棚町西山交差点から要望場所に向かってほぼ直線のため、スピードを上げて走る車両が多く見られます。

稗田川の高棚橋から要望場所に向かって少し登り坂になり、信号が見えるとスピードを上げる車両が多く見られます。

このため、遠くからでも、ここに横断歩道があると容易に認識できる横断歩道の標識を併せて要望します。



当該箇所



横断の様子



当該箇所（退避場所）



ごみステーション



朝の道路状況



朝の道路状況

